

渡邊順生

チェンバロ音楽シリーズ 2025

全5回

1 バッハ:フーガの技法(全曲)

1月17日[金] 19:00開演(18:30開場)

共演:鴨川華子(第2チェンバロ)[鏡像フーガのみ]

2 チェンバロの最も美しい響き

フローベルガー & ルイ・クープラン
チェンバロ名曲集

4月13日[日] 15:00開演(14:30開場)

3 バッハ:パルティータ(全曲)その1

7月4日[金] 19:00開演(18:30開場)

4 リュート・チェンバロと
歌の愉しみ

9月28日[日] 15:00開演(14:30開場)

共演:渡邊有希子(ソプラノ)

折原麻美(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

5 バッハ:ゴルトベルク変奏曲

12月21日[日] 15:00開演(14:30開場)

各回共 全席自由 4500円

3回セット券[限定30セット] 10000円

※任意の回を3公演/取扱いオフィシャルシュのみ

ご予約・お問合せ:オフィスアルシュ tel.03-3565-6771

後援:日本チェンバロ協会

Yoshio Watanabe Cembalo

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノ奏者、指揮者として活躍。論文執筆や楽譜校訂も手がける。アムステルダム音楽院にてグスタフ・レオンハルトに師事、ソリスト・ディプロマおよびブリュクセルランスを取得。フランス・ブリュッヘン、アンナー・ビルスマ、ジョン・エルウィス、マックス・ファン・エグモントなど、欧米の名手・名歌手たちと多数共演。またCD録音も多数。2006年度、16年度レコード・アカデミー賞に輝く。10年度サントリー音楽賞受賞。19年指揮したモンテヴェルディのオペラ『ポッペアの戴冠』で、三菱UFJ信託音楽奨励賞受賞。



渡邊順生チェンバロ音楽シリーズ 2025

1 バッハ：フーガの技法 (全曲) 1月17日 [金] 19:00開演 (18:30開場)

共演：鴨川華子 (第2チェンバロ) [鏡像フーガのみ]

演奏は、バッハの死後に出版された初版譜によって行いが、演奏順は、1742年に成立したとされる自筆による初期稿に準拠した渡邊独自の曲順 (詳細は、当日のプログラム・ノートを参照されたい)。2022年1月に発売されたCDは極めて好評で、「レコード芸術」誌の特選盤となり、同年のレコード・アカデミー賞にもノミネートされた。



1/17

鴨川華子

Hanako Kamogawa
チェンバロ



東京音楽大学ピアノ科を経て同大学研究科チェンバロ専攻修了。第9回国際古楽コンクール (山梨) チェンバロ部門にて最高位。第7回新木 [歳の街] 音楽祭賞受賞。1998年ブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門にてディプロマ受賞。ソロ活動の他、室内楽の通奏低音奏者として多くのアーティストと共演。録音にも参加している。バッハの森チェンバロ教室講師。「ジョーバン・バロック・アンサンブル」メンバー。

2 チェンバロの最も美しい響き 4月13日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

フローベルガー：トッカータ第2番・組曲第19番・第20番 他

ルイ・クーブラン：組曲イ短調・ハ長調

横田誠三氏製作による素晴らしい初期フレンチ・モデル (クロード・ラブレッシュ [c1680] のレプリカ) を使用。2023年4月にローマのメディチ荘で録音された渡邊のCD『フローベルガー & ルイ・クーブラン：チェンバロ精華集』(ALCD-1220) は、使用した17世紀フランス様式のチェンバロの響きの美しさが話題となり、新聞・雑誌等でも好評を博した。今回もほぼ同一のコンセプトによるプログラム。



9/28

渡邊有希子

Yukiko Watanabe
ソプラノ



国立音楽大学声楽科卒業。卒業時に武岡賞受賞 (首席)。東京藝術大学大学院修士課程独唱科修了。バロックから初期ロマン派までを得意レパートリーとする。桃華楽堂での御前演奏会を始め、各種の演奏会に出演。宗教曲のソリストや少人数アンサンブルにも参加。第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。第26回国際古楽コンクール (山梨) 第3位 (1位無し)。これまでに曾我榮子、朝倉蒼生、森明彦を始め、著名な海外演奏家によるマスタークラスも多数受講。Clara Musica を主宰。0才から楽しめる親しみやすいコンサートから本格的なものまで企画、幅広く活動している。

3 バッハ：パルティータ (全曲) その1 7月4日 [金] 19:00開演 (18:30開場)

J・S・バッハ：パルティータ第1番・第2番・第4番

1731年に出版されたバッハの「6つのパルティータ」は、バッハの最高傑作の1つで、バロック時代における組曲の伝統を究極に導いたとされる謂わば窮極の組曲集。渡邊はこの曲集に学生時代から半世紀以上にわたって取り組んでおり、今回は2回にわたる全曲演奏の第1回目となる。

4 リュート・チェンバロと歌の愉しみ 9月28日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

リュート・チェンバロの伴奏によるダウランド、モンテヴェルディ、パーセル等の歌曲

バッハ：リュート・チェンバロのためのプレリュード、フーガとアレグロBWV998

リュート・チェンバロ (ラウテンクラヴィーア) は、バッハ自身が夢中になったガット弦を張ったチェンバロ。「隣の部屋で聴くと、本物のリュートと区別がつかないくらいリュートそっくりの音が出た」と当時の資料も伝えているが、現存例がないため幻の楽器とも言える。ガット弦のチェンバロとしてはわずかに、1710~20年頃にイタリアで製作されてというチェンバロが現存している。今回使用するのは、アメリカの著名なチェンバロ製作家キース・ヒルが2000年に想像復元したリュート・チェンバロ。演奏曲目は、シェイクスピアの同時代人であったジョン・ダウランドのリュート・ソングをはじめとする独唱歌などトラモーのカウンタータ (焦がれる想い) (ヴィオラ・ダ・ガンバの助奏付き) 及びバッハのリュート・チェンバロのためのソロ曲。

9/28

折原麻美

Asami Orihara
ヴィオラ・ダ・ガンバ



国立音楽大学音楽文化デザイン学科 (音楽学) 卒業。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバを始め、卒業後渡欧。ブリュッセル王立音楽院古楽器科にて学部、修士、研究科を修了。ヨーロッパ各地の音楽祭出演等で研鑽を積み、2018年に拠点を日本に移す。ルネサンス〜バロック音楽を中心に、世界各地の民謡、舞曲、童謡等ジャンルにこだわらず楽器の魅力を発信。アイゼナハ音楽院講師。www.oriharaasami.com

5 バッハ：ゴルトベルク変奏曲 12月21日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

2025年のシリーズ最後のコンサートは年末恒例の《ゴルトベルク》。渡邊の《ゴルトベルク》には2種類のCD (セシル・レコードとコジマ録音) の他に YouTube 動画 (2021年11月製作) がある。https://www.youtube.com/watch?v=pVlaoJUQFQ&t=1666s

各回共 全席自由 4500円

3回セット券 [限定30セット] 一般10000円 ※任意の回を3公演/取扱いオフィスアルシュのみ

ご予約・お問合せ:

オフィスアルシュ tel.03-3565-6771

チケット取扱い:

チケットぴあ https://t.pia.jp Pコード285507

イープラス https://eplus.jp

東京古典楽器センター tel.03-3952-5515



pia



eplus

今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

JR山手線 駒込駅から徒歩11分

東京メトロ南北線 駒込駅から徒歩8分

都営地下鉄三田線 千石駅から徒歩5分

